

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	072								
事務事業名	道路新設改良事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	08	項	02	目	03	事業	01	
担当部	都市建設部	担当課	道路課	担当係	整備係														
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)			根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市道路の構造の基準等を定める条例)												

2 事務事業の目的

当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か？→ ②一方で、「現状や課題」はどうか？→ ③そのためには何をすべきか？ という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	市内には狭隘道路が未だ数多くあり、車両と人のスムーズな通行が妨げられている。さらに、緊急車両の通行にも支障があることから、地域の防災や安全にも影響が生じている。	誰・何を対象に	幅員4m未満の市道(生活道路)	望ましい状態	幅員4mに拡幅されたことにより、人と車両の通行がスムーズになっている。そのため、緊急車両も通行しやすくなり、地域の防災や安全に支障が出ていない状態となっている。
どのような方法・手順で			地元から要望のあった危険性並びに必要性がある路線について、順次拡幅工事を実施する。		

3 事務事業の主たる成果指標

数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	道路拡幅要望に対する工事完了率	単位	%	目標値	100	目標年次	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)
-----	-----------------	----	---	-----	-----	------	----	-------------------------------------

4 事務事業の実績 ㉠

当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成28年度			平成29年度			平成30年度								
	業務名	活動量		業務名	活動量		業務名	活動量							
事務事業を構成する主な業務	① 用地測量業務	1業務		① 用地測量業務	3業務		① 用地測量業務	3業務							
	② 補償物件調査	2業務		② 補償物件調査	3業務		② 補償物件調査	4業務							
	③ 用地買収	10事業		③ 境界測量業務	1業務		③ 用地買収	13事業							
	④ 補償契約	15事業		④ 用地買収	12事業		④ 補償契約	15事業							
	⑤ 測量設計業務	12業務		⑤ 補償契約	17事業		⑤ 測量設計業務	16業務							
	⑥ 積算業務委託	1業務		⑥ 測量設計業務	12業務		⑥ 積算業務委託	1業務							
	⑦ 境界測量	4業務		⑦ 積算業務委託	2業務		⑦ 測量調査	3業務							
	⑧ 測量調査業務	5業務		⑧ 測量調査	8事業		⑧ 測量図面修正	1業務							
	⑨ 路線測量	1業務		⑨ 地質調査	7業務		⑨ 事業負担金	2事業							
	⑩ 道路工事発注	30事業		⑩ 道路工事発注	30事業		⑩ 道路工事発注	26事業							
	⑪ (※繰越事業を含む)			⑪ (※繰越事業を含む)			⑪ (※繰越事業を含む)								
	⑫			⑫			⑫								
目標値に対する実績値			5 %	目標値に対する実績値			5 %	目標値に対する実績値			5 %				
決算額	計	325,104,553 円	内訳	特定財源	145,010,000 円	計	300,502,787 円	内訳	特定財源	208,800,000 円	計	435,353,885 円	内訳	特定財源	323,900,000 円
		(住民一人あたりの行政コスト)		一般財源	180,094,553 円		(住民一人あたりの行政コスト)		一般財源	91,702,787 円		(住民一人あたりの行政コスト)		一般財源	111,453,885 円
				5,346 円					4,970 円					7,257 円	

5 担当者評価 ㉡

実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	目標は設定していない	成果内容	
問題点			・地元自治会から拡幅についての要望が多数寄せられているが予算に限りがあるため、全ての要望に答えられない。 ・現地の地形や道路線形の問題から、円満に用地取得とならない場合もある。そのため工事発注に不測の日数を要することとなり、拡幅完了が遅くなることもある。

6 担当部長及び担当課長評価 ㉢

担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

道路拡幅の市民からの要望が非常に多く山積している中で必要性・緊急性・地元の協力体制などを総合的に考え、地域のバランスや優先順位を考慮して計画的に進めていきたい。また、事業費についても関係者のさらなる協力を得て縮減できるよう努めたい。

7 実施計画 ㉣

今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
事業内容	4m未満の市道(生活道路)の拡幅事業 ・測量設計業務 ・用地交渉 ・工事発注	4m未満の市道(生活道路)の拡幅事業 ・測量設計業務 ・用地交渉 ・工事発注	4m未満の市道(生活道路)の拡幅事業 ・測量設計業務 ・用地交渉 ・工事発注						
成果指標	指標名	単位	目標値	指標名	単位	目標値	指標名	単位	目標値
予算額	歳出	計	442,549 千円	歳出	計	391,747 千円	歳出	計	265,848 千円
		特定財源	349,600 千円		特定財源	266,400 千円		特定財源	167,800 千円
	歳入	一般財源	92,949 千円	歳入	一般財源	125,347 千円	歳入	一般財源	98,048 千円
		計	442,549 千円		計	391,747 千円		計	265,848 千円

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。
道幅が4mなくても昔から生活道路になっているところもある。厳しい財政状況の中にあっても、地域のバランスを考慮し、優先順位をつけ順次整備を進めて欲しい。

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉤

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

道路インフラの整備は安全安心な市民生活に直結するとともに地域の防災にも欠かせないものであるため、市民の要望に最大限応えるべき。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉥

実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

完了路線の割合を増やすために、地域のバランスと優先順位を考慮した上で事業内容を精査し関連する業務や工事の早期完了を目指す。そのことによって、次に控えている事業や業務に着手出来るようにし完了路線の増加を目指す。